

＼ 県民に元気や感動を与えてくれている方々をご推薦ください ／

# 「第11回あしたのなら表彰」募集

## 1. 概要

特定分野や年齢、経験年数にとらわれず、奈良のPRや魅力向上（イメージアップ）に大いに寄与する活動や、県民に元気や感動を与える活動を行っている、個人又は団体を幅広く公募し、顕彰します。



## 2. 募集対象

| 分野         | 具体例   |
|------------|---|
| 奈良のPR・魅力向上 | ・地域の魅力向上に大いに寄与するまちづくり活動<br>・奈良のイメージアップや観光客増加につながるPR活動<br>・国内外での伝統芸能の普及・紹介活動<br>など   |
| 元気・感動      | ・県民に元気を与える産業創出活動<br>・県出身のスポーツ選手の活躍<br>・県民や地域の健康長寿意識の向上活動<br>※70歳以上の個人による健康長寿の実践者は、<br>「第11回ならビューティフルシニア」にご応募ください。<br>・文化、芸術、スポーツ分野等での感動的な活躍<br>など |
| 地域貢献       | ・地域のために行う地道な地域貢献活動<br>など  |

- ・個人でも、団体でも、表彰対象となります。
- ・年齢・団体設立年数や、所在地・活動地域の県内外を問いません。
- ・学校教育法に規定される学校等が主導して行う活動は表彰対象外になります。
- ・過去に推薦された個人・団体も、本表彰受賞者以外は再度推薦可能です。
- ・同時期に募集を行う「第11回ならビューティフルシニア」及び「第6回奈良のお薬師さん大賞」と同時に応募はできません。

## 3. 募集期間

令和2年7月31日（金）～ 同年9月11日（金）（消印有効）

## 4. 応募方法

自薦又は他薦の方法により広く募集します。  
推薦書に活動状況がわかる写真や資料を添えて応募してください。

(推薦書様式は県ホームページにも掲載しています。7. 応募及びお問い合わせ先に記載のところまで郵送、またはご持参ください。)

ご提出いただいた資料は返却しませんので、ご了承ください。

## 5. 選考方法

「あしたのなら表彰及びならビューティフルシニア表彰選考委員会」において選考します。(数名程度)

## 6 表彰式 (予定)

開催日：令和2年12月12日(土)午後

※「第11回ならビューティフルシニア表彰式」、「第6回奈良のお薬師さん大賞表彰式」も併せて行います。

※新型コロナウイルス感染症の流行とそれに伴う社会情勢を受け、中止する場合があります。

## 7. 応募及びお問い合わせ先

奈良県総務部知事公室広報広聴課放送制作係

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

電話：0742-27-8056 FAX：0742-22-6904

HPアドレス <http://www.pref.nara.jp/32293.htm>

### 前回(第10回)受賞者のご紹介

#### ◇あかまつ くにこ赤松 邦子 さん

1998年「へぐりCO育てネット」発足。母親の困りごとに寄り添い「無いならつくっちゃお」と、住民の自助共助視点で支援活動開始。2005年より「なら子育て応援団」団長。2007年には父親支援も。2014年「NPO法人パパちから応援隊」設立。夫婦・祖父母・地域の支援者に対象を広げ、子育て支援策の真髓を牽引されてきました。

#### ◇たかまつ くにこ高松 久仁子 さん

学生時代、北海道への修学旅行で美味しい牛乳に出会い、美味しい牛乳が飲める酪農をしようと決意し、大宇陀にあった畜産試験場で酪農を学びました。いろいろな人たちとの出会いがあり、乳製品加工をはじめ、現在に至っております。

#### ◇ひらの しげお平野 重夫 さん

日本の「茶の湯文化」や「奈良の良さ」を知ってもらうために、外国人観光客向けに「茶の湯体験(茶会など)」を開いたり、誰でも気軽に「茶の湯」に触れてもらえるよう地元の社寺や美術館で茶会を定期的で開催したりするとともに、人と人との出会いやふれあいを大切に活動されています。

#### ◇とくていひえいりかつどうほうじん でんしじちたい特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ

子どもから高齢者までICT(パソコン、タブレット、スマホ、インターネット、セキュリティ等)の恩恵が公平に受けられるよう、子ども向けICTものづくり体験教室や、市民向けに情報リテラシー(情報活用能力)向上のための講座や、パソコン・スマホ教室などを開き、活動されています。

#### ◇ひょうげあい かい兵家藍の会

美しい山麓景観や環境保全のため、休耕農地を活用して藍の種から栽培し、藍染めを手がけ、体験教室や体験型観光なども行っています。藍染めにより作られる「大和かすり」はかつて地域の主要産業であったこともあり、伝統文化の素晴らしさと地域の魅力を広く発信されています。